

しらかば

第89号

令和4年
(2022年)

7月



北海道対がん協会ホームページ

公益財団法人 北海道対がん協会

北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15 Tel (011) 748-5511 Fax (011) 748-5512 <https://www.hokkaido-taigan.jp/>



就任ご挨拶



北海道対がん協会

会長 加藤 元嗣



この4月より、長瀬 清前会長の後任として北海道対がん協会会長に就任いたしました。長瀬前会長におかれましては北海道医師会会長を兼任され、超人的な忙しさの中で長きに渡って当協会での活躍とご尽力いただきましたことに深く感謝申し上げます。また、この2年間は新型コロナウイルス感染症が検(健)診事業に与えた影響は計り知れなく、想像を超えるご心配やご苦労があったものと頭が下がります。新型コロナがどのような終息を向かえるかは未知数ですが、-27.4%に落ち込んだがん検診受診者も徐々に回復しています。しかし、新型コロナ流行前と比べ、いまだ10.3%下回っており依然厳しい状況にあります。道民の皆様の健康を守るために、当協会職員が一丸となってこの難局に立ち向かう覚悟しております。

私は、1989年から30年近く北海道大学病院で勤務し、その間、光学医療診療部部長・診療教授として北大病院の内視鏡診療に携わってきました。私の研究テーマはヘリコバクター・ピロリ感染(ピロリ菌)と胃がん及び他疾患との関連性で、ピロリ除菌で胃癌が予防できることを世界で最初に証明しました。2016年に国立病院機構函館病院の院長に赴任し、がん予防の普及のために「がん予防センター」を開設して、胃・子宮・肺・大腸・乳がんの五大がん検診に留まらず、ピロリ検診や市民への啓発活動などを中心に活動してきました。

がん予防は一次予防と二次予防に分けることができます。一次予防はがんの原因をなくすことによって、がんの発生を減らします。肺がんに対する禁煙

運動、胃がんに対するピロリ菌対策、大腸がんに対するクリーンコロン(ポリープのない大腸)などが一次予防になります。二次予防はがんの早期発見と早期治療によってがんの死亡率を下げるすることができますが、がんの発生には無効です。現在行われているがん検診は二次予防にあたり、早期発見で治るがんに受診率が高くなるほどより効果が期待できます。一方、内視鏡検査や胃バリウム検査を用いる胃がん検診では胃がんの発見だけではなくピロリ菌感染の状態も診断できるので、ピロリ菌感染者に一次予防としての除菌治療を行うことができます。

わが国は超高齢社会を迎え、がん患者は増え続けており、生涯でがんにかかる割合は男性が60%、女性が40%で2人に1人ががんに罹患する時代です。年間のがんによる死亡者は約38万人で、死因別では2位を大きく引き離しての1位であり、国民の3人に1人ががんで亡くなっている状況です。特に、北海道は全国の中でもがん死亡率が高い都道府県です。これまで蓄積してきた知識や経験を当協会の検(健)診事業に活かして、有効性が高く、効率のよいがん予防を進めて行き、道民の健康寿命延伸に貢献していきたいと考えています。がんや生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発、検(健)診事業、がんに関する調査・研究事業を3本柱にして、心身ともに豊かな社会の実現に向けて邁進しますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。



対がん協会会長退任にあたって

長瀬 清

この度、7年にわたって務めて参りました、協会の会長職を退くことになりました。あっという間の7年間でしたが、そのうちの3年は新型コロナウイルス感染症対策に緊張を強いられた忘れることの出来ない日々が重なっていて、なお思い出深い年月でした。医師をはじめ職員の皆様方の献身的な働きに感謝しています。有り難うございました。

当協会は、昭和4年の創立で、日本の各地にある対がん協会の先駆者であり、2年前に創立90周年を祝ったところでした。数年後には一世紀を迎えます。

私と協会との付き合いは大変長きに渡ります。大学卒業後内科学特に消化器病学と癌を意識して北海道大学内科学第三内科教室に入局しました。当時の教授は高杉年雄先生で、消化器病を専門とする並木正義先生が講師をされていました。その頃日本では消化器病、特に胃癌の診断が脚光を浴びていました。胃バリウム検査で二重造影法の開発研究、内視鏡検査で先端カメラ方式から直視型ファイバースコープの開発と診断機器の進歩は目覚ましいものがありました。そのような中、対がん協会から検診の胃バリウム検査フィルム読影の依頼を受け引き受けることになりました。期日指定に追われて沢山のフィルム読影の毎日で、今でもその時の記憶がよみがえってきます。それが、対がん協会との繋がり始まりでした。その後、平成11年から北海道医師会の副会長、会長として道の癌対策の委員としての関わり、また、対がん協会の理事、副会長そして会長として、会の運営に携わってきました。

前会長の菊地浩吉先生は、当協会を設立された北海道大学医学部第一病理今裕、武田勝男先生の後輩になります。

私の後を引き継いでくれる加藤元嗣先生は、消化器内視鏡診断、治療の日本の指導的役割を果たしておられる現役バリバリの先生で、当協会の発展のためには最適任者と思っております。

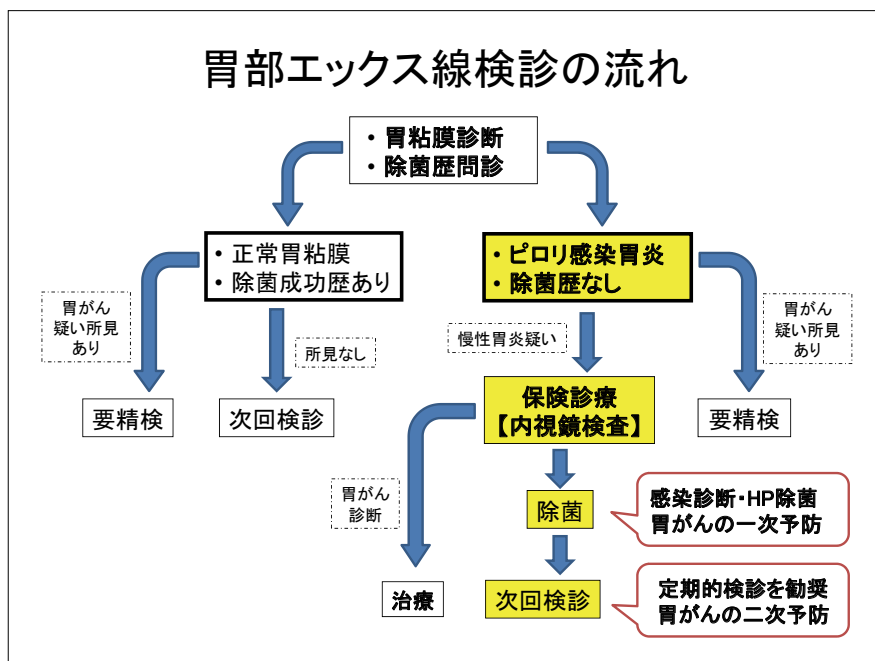
協会並びに皆様方のご発展を心から願ってやみません。

対がん協会に在任中に各方面からお寄せ頂いた御厚情に深謝いたします。ありがとうございました。今後とも北海道対がん協会をよろしく願いたします。

胃部エックス線検診における 背景胃粘膜診断の実施

～胃部エックス線検査によるヘリコバクター・ピロリ感染の診断について～

対策型胃部エックス線検診では、従来は胃がんの診断のみが行なわれてきました。北海道対がん協会では本年4月より、ピロリ菌感染の状態を評価する背景胃粘膜診断も同時に施行して、ピロリ感染胃炎の所見を認めてかつピロリ除菌を受けていない方に対して、ピロリ感染胃炎の疑いであることを通知します。通知を受けた方にはできるだけ早く医療機関を受診して胃内視鏡検査と同時にピロリ菌の確認を行い、ピロリ陽性者は除菌治療を受けるように勧奨します。ピロリ菌が除菌されることにより、胃炎が治癒して胃がんの発症を予防することができるためです。



胃がんの原因はピロリ菌の感染であることはご存じの方が多くと思います。幼少時にピロリ菌が感染すると胃炎を起こし、ほぼ生涯を通じて感染が持続することで胃炎を悪化させます。炎症のある胃粘膜から胃がん、胃・十二指腸潰瘍などのピロリ関連疾患が発症します。一方、ピロリ除菌で胃炎が改善すると、胃がんの発症が抑制されます。すなわち胃がんが予防されることが明らかになりました。胃がんの予防には一次予防と二次予防があり、現在わが国で行なわれている胃がん検診は二次予防にあたり、胃がんの死亡率を減らすことができても胃がん発症を防ぐ効果はありません。一方、ピロリ除菌は一次予防にあたり、がんの原因を除去することで胃がんの発症を阻止します。2013年にピロリ感染胃炎に対する除菌治療が保険適用となりました。現在はピロリ陽性者全員が保険診療で除菌ができる時代です。

現在の胃内視鏡検査では、ピロリ感染した粘膜なのか、ピロリ感染していない粘膜なのかの診断はある程度可能です。一般診療では胃内視鏡検査でピロリ感染が疑われた人に対して、感染診断で陽性が確認できれば除菌治療を施行することが行なわれています。実は内視鏡でピロリ感染状態が診断できるように、胃部エックス線検査においてもピロリ感染状態の診断ができます。そこで、胃部エックス線を用いた胃がん検診の受診者に対して、胃がんの診断だけでなく、ピロリ感染の診断を組み込むことで、できるだけ多くの方に除菌治療を受けて頂きたいと考えています。ただ、現在の感染か過去の感染かの鑑別は難しいこともあり、過去に除菌治療を受けているかは問診結果を参考とします。また、胃粘膜診断を加えることで有所見が増加することを避けるために、当面の間は69歳までと年齢制限をさせていただきます。70歳以上でピロリ感染が心配な人は、胃内視鏡検査を受けることをお勧めします。

これまでの研究結果でピロリ除菌を受けると、胃がんリスクは半分以下になることが知られています。しかし、進展した胃炎の場合では除菌後にも胃がんが発見されますので、除菌後にも定期的な検査が必要です。胃がんは予防できるがんですので、胃がんで死ぬのは勿体ないことです。ピロリ菌を除菌して定期的な胃がん検診を受けていれば胃がんで死ぬことをほとんど防ぐことができます。胃部エックス線検診でピロリ感染胃炎の疑いとされた方は直ぐに医療機関を受診するようにお願いします。

賛助会員名簿

(令和4年6月15日現在)

(敬称略)

ご 報 告

令和3年度（令和3年4月11日～令和4年4月10日）の賛助会費の収支決算は次のとおりです。
会員の皆様に厚くお礼を申し上げ、ご報告いたします。
なお、名簿には令和4年度の新規会員も含まれます。

収 入 の 部

| | | |
|------|------|------------|
| 個人会員 | 256件 | 554,000円 |
| 法人会員 | 100件 | 1,220,000円 |
| 計 | | 1,774,000円 |

支 出 の 部

| | | |
|-------|------------------|------------|
| 通信運搬費 | 資料等の郵送料 | 359,000円 |
| 印刷製本費 | 普及啓発用パンフレット等の印刷費 | 1,415,000円 |
| 計 | | 1,774,000円 |

個人会員の部

| | | | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 札幌市中央区 | 佐々木 容子 | 張 山 朋 恵 | 宮 城 直 子 | 小 林 あつみ | 大 石 耕 治 | 平 口 浩 造 |
| 浅 川 聡 子 | 佐 竹 啓 一 | 日 野 順 子 | 本 吉 和 紀 | 今 野 浩 明 | 岡 田 幸 博 | 本 間 幸 子 |
| 東 惠 子 | 佐 藤 トキエ | 藤 川 甫 | 札幌市手稲区 | 齊 藤 九 文 | 加 藤 清 則 | 北 広 島 市 |
| 大 上 婦 美 子 | 篠 永 蘭 子 | 森 康 司 | 大 中 房 江 | 酒 井 歩 夏 | 加 藤 みち子 | 木 原 真 結 |
| 小 田 寿 | 庄 司 淑 子 | 山 崎 留 美 | 木 村 圭 子 | 坂 田 裕 美 | 北 田 雅 嗣 | 石 狩 市 |
| 桂 絢 子 | 白 井 富 枝 | 吉 田 晃 暢 | 今 野 信 代 | 佐々木 弘之 | 木 村 義 和 | 小 松 寛 |
| 木 田 達 子 | 白 井 祐 一 | 札幌市白石区 | 瀬 野 尾 瞳 | 佐 藤 和 美 | 佐 藤 恵 美 子 | 三 浦 信 悦 |
| 甲 地 清 | 春 原 良 江 | 大 向 博 子 | 高 井 収 | 推 名 安 之 | 新 堀 正 | 新 篠 津 村 |
| 鈴 木 篤 子 | 富 樫 みよ子 | 藤 元 仁 美 | 高 井 瑞 枝 | 菅 原 則 子 | 住 吉 香 織 | 高 村 範 子 |
| 鈴 木 信 一 | 西 嶋 和 恵 | 札幌市豊平区 | 細 越 信 子 | 鈴 木 貴 | 瀬 戸 昭 典 | 乙 部 町 |
| 竹 江 スミエ | 馬 場 真 志 | 北 沢 光 昭 | 三 崎 陽 子 | 相 馬 尚 実 | 高 澤 輝 雄 | 生 田 晃 吉 |
| 谷 川 都 夜 子 | 平 盛 範 昭 | 北 沢 利 恵 子 | 渡 辺 正 嘉 | 田 村 阿 伊 子 | 田 中 稔 | 森 町 |
| 塚 田 律 子 | 牧 野 洋 子 | 栗 田 勝 哉 | 札幌市清田区 | 田 村 稔 | 富 樫 房 子 | 梶 谷 和 子 |
| 藤 田 秋 見 | 丸 岡 和 子 | 坂 梨 楨 哉 | 阿 部 春 郎 | 中 西 健 三 | 中 河 裕 喜 | 古 平 町 |
| 藤 原 美 樹 | 村 上 軍 時 | 高 森 ふじ子 | 奥 木 紘 二 | 中 村 恵 子 | 羽 田 砂 紀 子 | 工 藤 誓 子 |
| 松 浦 敏 章 | 毛 利 拓 哉 | 寺 尾 彩 子 | 羽 賀 俊 夫 | 中 山 仁 | 廣 島 吉 雄 | 由 仁 町 |
| 三 谷 黎 子 | 森 愛 子 | 長 瀬 清 | 半 田 信 子 | 西 川 恒 彦 | 福 士 雄 大 | 大 島 安 怡 子 |
| 柳 瀬 敏 子 | 札幌市東区 | 山 上 みゆき | 南 出 博 子 | 西 澤 光 子 | 福 士 理 恵 子 | 東 辻 智 恵 子 |
| 山 本 仁 史 | 浅 井 寛 子 | 札幌市南区 | 吉 村 千 鶴 子 | 西 田 大 | 松 葉 憲 二 | 栗 山 町 |
| 札幌市北区 | 安 達 督 | 遠 藤 留 美 子 | 函 館 市 | 野 村 好 紀 | 松 村 麻 衣 | 坂 上 由 美 子 |
| 阿 部 裕 | 市 川 浩 巳 | 山 田 しをり | 中 村 栄 一 | 原 隼 | 村 田 治 美 | 東 神 楽 町 |
| 猪 股 順 子 | 浦 洋 子 | 吉 井 廣 子 | 村 山 信 夫 | 平 森 裕 樹 | 山 本 終 一 | 新 関 おりえ |
| 猪 股 正 行 之 | 大 家 秀 雄 | 札幌市西区 | 小 樽 市 | 福 沢 宗 司 | 北 見 市 | 当 麻 町 |
| 岩 崎 義 之 | 奥 野 信 也 | 伊 藤 スエ子 | 小 林 万 寿 子 | 藤 井 哲 哉 | 村 井 昌 裕 | 山 本 智 美 |
| 宇 内 光 枝 | 川 橋 貴 大 | 合 田 真 弓 | 斎 藤 京 子 | 藤 本 みゆき | 江 別 市 | 上 川 町 |
| 遠 藤 洋 子 | 久 保 彩 香 | 白 川 賢 一 | 旭 川 市 | 細 川 肇 | 梅 津 敏 敬 | 木 村 美 江 子 |
| 遠 藤 将 代 | 小 西 加 奈 子 | 高 橋 延 昭 | 浅 香 伸 一 | 前 田 莉 恵 | 木 下 邦 麿 | 更 別 村 |
| 岡 部 啓 子 | 小 松 薫 | 中 川 昌 代 | 石 川 良 美 | 松 谷 和 江 | 鈴 木 康 雄 | 宿 田 成 宏 |
| 長 内 瑠 美 子 | 佐 藤 文 俊 | 前 田 好 德 | 石 坂 結 夏 | 村 上 奈 緒 | 山 口 孝 代 | 釧 路 町 |
| 窪 田 明 代 | 佐 藤 政 子 | 前 田 敦 子 | 石 山 好 人 | 山 内 優 佳 | 石 田 浩 一 | 齋 藤 晋 一 |
| 黒 田 モトエ | 白 井 典 子 | 南 聡 一 | 板 谷 小 夜 里 | 山 上 良 子 | 紋 別 市 | 松 館 啓 二 |
| 小 鍛 冶 実 恵 子 | 高 木 祐 子 | 山 室 吉 博 | 笠 茂 光 範 | 山 崎 知 文 | 竹 澤 康 裕 | 厚 岸 町 |
| 小 島 良 子 | 田 丸 波 於 | 札幌市厚別区 | 加 藤 智 子 | 山 本 誉 也 | 舟 見 美 登 里 | 加 藤 孝 克 |
| 後 藤 靖 子 | 傳 法 公 磨 | 安 住 香 代 子 | 金 村 茂 子 | 横 堀 良 男 | 千 歳 市 | 加 藤 多 恵 子 |
| 九 石 和 恵 | 藤 堂 勢 津 子 | 佐々木 稔 | 木 村 まなみ | 渡 邊 知 市 | 佐 藤 正 博 | 白 糠 町 |
| 齋 藤 芳 子 | 中 川 紗 和 | 佐 藤 裕 人 | 熊 林 弘 美 | 釧 路 市 | 富 良 野 市 | 岡 部 美 佐 夫 |
| 佐々木 志津子 | 中 村 陽 子 | 柴 田 弘 子 | 倉 兼 俊 之 | 浅 井 正 子 | 山 田 一 雄 | 小 栗 美 代 子 |
| 佐々木 圓 治 | 林 恵 美 子 | 土 田 雅 恵 | 合 田 亜 希 | 阿 部 望 | 伊 達 市 | 茂 木 スズエ |
| | | 新 田 康 子 | 小 沼 真 澄 | 遠 藤 智 仙 | 東 愛 子 | 山 吉 文 子 |

市町村会員の部

赤井川村
厚岸町
安平町
置戸町
標茶町
天塩町
弟子屈町
北竜町
余市町
羅臼町
蘭越町
留寿都村

札幌臨床検査センター 株式会社
三機工業 株式会社
山藤三陽印刷 株式会社
サントリービバレッジサービス 株式会社
株式会社 常光
大丸 株式会社
株式会社 ティ・アイ・エス
デンソーテクノ 株式会社
なかせき商事 株式会社 札幌営業所
株式会社 日榮舎
株式会社 日立ビルシステム 北海道支社
ベル通信工業 株式会社
株式会社 ベルックス
株式会社 ほくやく
株式会社 北洋銀行
北海ケミィ 株式会社
株式会社 北海道新聞社
株式会社 北海道医療新聞社
北海道エネルギー 株式会社
北海道コカ・コーラボトリング 株式会社
北海道日野自動車 株式会社
一般社団法人 北海道医師会
一般社団法人 北海道薬剤師会
一般社団法人 北海道臨床衛生検査技師会
株式会社 北基サービス
堀井薬品工業 株式会社
前田タイヤ 株式会社
有限会社 丸や山口商店
三浦印刷 株式会社

株式会社 ムトウ
石狩市
株式会社 リプロワーク
北広島市
株式会社 LNJ自工 北広島支店
社会福祉法人 北海道リハビリ
旭川市
株式会社 あいわプリント
旭川トヨタ自動車 株式会社 末広支店
旭川レディースクリニック
株式会社 旭川環境リサイクル
有限会社 入江タイヤサービス
環境衛生工業 株式会社
協同車輜整備工業 有限会社
北海道コカ・コーラボトリング 株式会社 旭川事業所
澤井石油商事 株式会社 旭川支店
旭川市市民生活部市民活動課内
高砂熱学工業 株式会社 旭川営業所
有限会社 旭川ティーピーエム
医療法人 東光マタニティクリニック
株式会社 ドーホク
日興自動車工業 株式会社
株式会社 ノヴェロ 旭川支社
北海道日野自動車 株式会社 旭川支店
株式会社 富貴堂ユーザック
有限会社 北光クリーニング
株式会社 ホンダベルノ旭川 末広店
釧路市
阿寒歯科診療所 大澤正幸

医療法人社団 サンライズ杉元内科医院
一般社団法人 釧路歯科医師会
株式会社 セントラルビルサービス
株式会社 近藤設備工業
株式会社 松井建設
丸井産業 株式会社
釧路総合印刷 株式会社
千代田電装工業 株式会社
大栄商事 株式会社
中央防災システム 株式会社
東テック北海道 株式会社
東北海道日野自動車 株式会社 釧路支店
藤田印刷 株式会社
有限会社 クリーニングいまい
有限会社 大沢タイヤ商会
高橋電気保安事務所
帯広市
株式会社 帯広臨床検査センター
太田電機 株式会社
大同出版紙業 株式会社
北斗市
八潮運輸 株式会社
東神楽
道北飲料
東京都
サンプランニングシステムズ
保険情報サービス 株式会社
千葉市
公益情報システム 株式会社

法人会員の部

札幌市

アイ・ティ・エンジニアリング
株式会社 朝日新聞社 北海道支社
伊藤組土建 株式会社
有限会社 医用センターフクヤ
株式会社 ATM保険事務所
カイゲンファーマ 株式会社
有限会社 クイックドライかさはら
公益財団法人 北海道結核予防会
株式会社 恵和ビジネス
株式会社 札幌白衣

がん征圧に 尊い寄付金

令和3年度にお寄せいただきました寄付金は次のとおりです。（敬称略）

| | |
|----------------------|------------|
| 北海道コカ・コーラボトリング(株) | 1,445,439円 |
| 北海道ベンディング(株) | 391,157円 |
| (株)伊藤園 | 26,304円 |
| (株)エスシー・アベックス | 5,350円 |
| (株)アベックス | 5,013円 |
| サントリービバレッジソリューション(株) | 108,731円 |
| 樫戸 健次郎 | 200,000円 |
| 若竹 重子 | 100,000円 |
| 石渡 晃 | 30,000円 |

2022年度 公益財団法人JKA 「補助事業交付式」

令和4年4月19日、2022年度「競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する補助金」に関する交付式に出席し、公益財団法人JKA様から、交付決定通知を受けました。

この事業による補助金により、胃胸部検診車1台を整備し、北海道全域の住民及び事業所検（健）診の受診率を増やし、がんの早期発見に繋げるとともに、全道民に対してがん検診受診の大切さを伝える普及啓発のツールとします。



旬の食事

～旬の魚をとりいれてみましょう～

管理栄養士 浅川 聡子

昔から食卓にかかせない身近な魚としていわしがあります。いわしの語源はいわしが庶民の食べ物だったため「卑しい（いやしい）」が徐々に「いわし」になった説や弱るのが早い魚ということで「弱し（よわし）」と呼ばれていたものが徐々に「いわし」になったという説があります。また、いわしの漢字の由来は、いわしが傷みやすくすぐに弱ってしまうことから魚に弱と書き「鰯（いわし）」と書くようになったともいわれています。

豊漁不漁の波が周期的にあり近年は全体的な漁獲量は多くなっています。いわしの旬は種類によって異なりますが、いわしの中で漁獲量の多いまいわしは北海道では夏に旬を迎えます。

いわしの梅しそ巻き焼き

材料（2人前）

- いわし……………4尾
- 塩……………少々
- 酒……………小さじ2
- 梅干し……………大1個
- 大葉……………8枚
- 小麦粉……………大さじ1
- オリーブオイル…小さじ2
- ミニトマト……………2個



作り方

- ① いわしは手開きにし、塩、酒をふって少し時間をおき、水分をふき取る。
- ② 梅干しは種をとり包丁でたたく。
- ③ ①のいわしの皮目を下にし、大葉を1尾につき2枚おく。
- ④ ②を大葉の上に少量のばし塗る。
- ⑤ いわしを頭側から尾の部分に向かい内側に巻き、巻きおわりをつまようじでとめる。
- ⑥ ⑤の表面に小麦粉をまぶし、余分な粉ははたく。
- ⑦ フライパンにオリーブ油をいれ中火で熱する。
- ⑧ あたたまった⑦をいれ全体をまんべんなく焼く。
- ⑨ ⑧を皿に盛り、切ったミニトマトを飾る。

【いわしの種類】

まいわし、うるめいわし、かたくちいわしが主な種類です。まいわし、うるめいわしはニシン科、かたくちいわしはカタクチイワシ科になります。

まいわし、かたくちいわしは日本各地の沿岸で漁獲され、うるめいわしの産地は主に西日本側に集中しています。まいわしは日本では代表的ないわしの種類で、春には関東地方のものが多く流通し夏は北海道産のものが旬を迎えます。

いわしは鮮魚として、また加工され店頭に並びます。魚を丸ごと干したものを丸干しといいます。目に串やわらを刺しためざし（目刺し）は主にいわしの干物になります。かたくちいわしの稚児はゆでて干し、しらす干しやちりめんじゃこ、少し成長したものは煮干しに加工されています。季節によりまいわしやうるめいわしも使用されます。かたくちいわしを塩漬けにして熟成させ油に漬けた物は、日本ではアンチョビと呼ばれ料理に使用されています。

【いわしを使った郷土料理】

なめろう（千葉県）：魚のたたき的一种で、味噌、切ったねぎ、しょうが等を混ぜ、さらに粘りがでるまで包丁でたたいた料理です。

さんが焼き（千葉県）：なめろうをハンバーグ状にまとも大葉をのせ、焼いたものです。

ちり鍋（福岡県）：身を一口大に切り、好みの野菜、豆腐等を酒、塩で味つけた鍋です。食べる時はポン酢等で食べます。

こんが漬け（石川県）：塩漬けにしたいわしを糠に漬けた保存食です。

第52回がん予防道民大会in新ひだかを開催します！

がん予防道民大会は、道民へのがんに関する正しい知識の普及啓発を目的として、北海道・開催市町村・公益財団法人北海道健康づくり財団・公益財団法人北海道対がん協会との4者共催により開催しています。今年は、下記のとおり新ひだか町での開催となり、オンラインによる配信も予定しておりますので、より多くの道民の皆様のご参加をお待ちしております。

日時

令和4年10月21日（金）
13時00分～16時00分

場所

新ひだか町公民館
（新ひだか町静内古川町1丁目1-2）

今回はオンラインでも同時開催！

入場無料

申込方法などの詳細は、後日、ホームページに掲載予定です。

新ひだか町 健康推進課

TEL.0146-42-1287
北海道対がん協会 TEL.011-748-5518

お問い合わせ

特別講演

「ヒトはなぜがんになるのか？」
～がんにならないように、
なっても困らないように～

北海道医療大学先端研究推進センター
特任教授

小林 正伸



健康講話

「9人にひとりが私でした…」
～患者取材していた私が乳がん～

北海道テレビ放送(株)
東京支社 編成業務部長
SODANE 編集長

阿久津 友紀



主催

北海道、新ひだか町、
（公財）北海道健康づくり財団、（公財）北海道対がん協会